



ERFC Newsletter

ユー/スロードスターファンクラブ通信 2005 vol.1

祝 ALL NEW ROADSTER 発表



(左) 新型「MAZDA MX-5」(3/1 第75回ジュネーブモーターショーで発表)

(右)「MAZDA MX-5 3rd Generation Limited」(3/23 2005年ニューヨーク国際オートショーに出品)

映像はこちらから <http://www.roadster.mazda.co.jp/pre/>

ごあいさつ

こんにちは、ひでまる@会長です。新しいロードスターがジュネーブショーで発表されましたね。インターネットや雑誌でも掲載されているのもうご覧になっていると思います。一昨年の5月に対向車線から飛び出てきたクルマに撃沈されて以来、ロードスターに乗っていないぼくとしても大いに気になっているところです。写真で見た感じでは「ずいぶん豪華になっちゃったなあ」という印象ですが、実際に見て(できれば)乗ってみるまではなんとも言えませんよね。ぼくは、最近40馬力クラスのクルマばかりなので、100馬力とか150馬力とかあるクルマなんて怖くて乗れないかもしれませんけど。

さて、去年の総会で「通信費」を廃止して、みなさんから質問やお問い合わせをいただいています、E.R.F.C.のしくみがいまままでと少し変わっています。高齢化していく(笑)スタッフの負担を減らすということもあるし、ピクニックや都筑オフといったイベントもほそぼそと続けてはいるものの、実際には唯一の大きな活動といえる清里ミーティングをメインに据えて、クラブの活動を今後も長く続けていくための道を模索している---というたいそうなことに聞こえますが---ということなので、みなさんご協力お願いします。

清里ミーティングに参加された方は、「E.R.F.C.のお知らせ」を約1年間お送りします。これはいままでの「会報」ですが、どれだけお届けできるかわからないのでキチンとした「会報」ではなくて、「お知らせ」というカタチにしました。そして次の清里ミーティングのお知らせをお送りして、また参加されたら次の清里ミーティングのお知らせまで「クラブのお知らせ」をお届けする、という感じです。もっとも様々な都合で清里ミーティングに参加できない方もいらっしゃるでしょうから、そういう場合はご相談ください。

毎年いろいろあつたりするんですが、清里ミーティングはできるかぎり続けていきます。E.R.F.C.もほそぼそとですがやっていくつもりです。今年は新しいロードスターも発売されるようですし、清里ミーティングでお会いしましょう。楽しみにしてます。



(ひでまる@会長)

清里反省会 & 総会報告

昨年(2019)の12月4日にいつものように秋葉原の通運会館で清里ミーティングの反省会が行われました。昨年(2019)から年度替りが清里ミーティングを境にするように変わりましたので、総会も兼ねての実施となり時間一杯まで活発な議論が行われました。清里反省会の部では、例年とは違って不測の事態がいろいろ



あった中でそれでもなんとかあった実績ができたという肯定的な感想もでた一方で、前準備段階でのコミュニケーション不足というスタッフの慣れに対する反省も多く聞かれましたし、スタッフ間での役割分担の見直しの必要性に関する意見もこれまた数多くの発言がありました。そんなわけで今年はこれらの反省を元に、マンネリの中にも多少なりとも改善の見られるミーティングにしていきたいと思います。ハイ。

続いて総会の部ですが、今年度の活動計画としては今年開催できなかったピクニックを是非実施したいと考えています。これについては別記事のピクニック開催案内をご覧ください。

また、昨年(2019)から通信費に関する仕組みを変えたのですが、変更内容に関するアナウンスがまだ不十分という反省が聞かれました。これについては冒頭の会長からのごあいさつにて改めてご案内していますのでそちらををご覧ください。

最後に役員改選ですが、長く渉外を務めた渋谷が退き、元副会長の前田が新たに渉外を担当することになりました。

...ということで今年度もあまり代わり映えのしない顔ぶれですが宜しくお願いします。(和田 大)

Under A Blanket Of Blue ~ E R F C ピクニックのご案内 ~

2年ぶりの今回は、山梨県の勝沼ぶどう郷で開催します。ロケーション的には中央道勝沼インターから少し走ったあたりですが、諸般の事情によりクルマ以外で行く場合、中央本線勝沼ぶどう郷駅から町内循環バスに乗って15分程度で会場近くまでアクセス可能です。腕に覚えのある方なら奥多摩小河内ダム方面から柳沢峠、大菩薩というルートでワインディングを楽しみながら現地入りも可能です。ちなみに、このコースの醍醐味は、中低速コーナーの連続するタイトな山道を抜け大菩薩峠を越えると視界が開けて塩山までの長い下り坂が続く、というメリハリの利いた走りを堪能できるところで、深山幽谷を行き、また甲府盆地を見下ろしながらの爽快感あふれるドライブを満喫いただけると思います。

会場は現地で観光ぶどう園を営まれている「展望園」の葡萄畑です。甲府盆地を見下ろす小高い丘に位置し、1200坪あるという葡萄棚の下まで車で入ることができます。バーベキュー設備もあるので大きな道具立ては不要です。気軽に「ピクニック」気分に参加ください。時期的にもGWも終わり、花の見ごろやぶどう狩りシーズンともぶつからないので、のんびり過ごせるのではと思います。

また、こちらは民宿も営まれており、室内の休憩場所も確保していますので、小さい子供連れでも心配ないと思います。(もちろん希望があれば「後泊」も可能ですし、またその場合近くの町営温泉を利用するのも一興と思われれます。)

会場費として展望園さんに特別の費用を払うわけではありませんので、今回は原則的に大人1人につき1人前のバーベキューセット(肉・野菜・おにぎり)を頼む事とさせていただきますが、食材の持ち込みもOKいただいていますし、基本は「ピクニック」ですからそれ以外の食べたいものは各自、自由に持ち寄りとしましょう。

また、このぶどう園と契約しているワイナリーからちょうど時期的に甲州ワインのはしりが入荷するとの話も聞いております。(大体1本1200~1400円程度だそうです)後泊その他で運転するのに支障がなければ、こちらもおわせて企画に組み込みたいと思います。(もちろん「自己責任」で、ね。)

現地の様子は <http://katsunuma.net/minshuku/tenbouen/> で見ることができます。ここからホームにいくと観光地図や勝沼のその他の情報もチェックできますので、探索してみてください。

天気のア配が気になる処ですが、展望園さんによれば「この時期になるとハウスを懸けるので雨でもOK」だそうです。また、宴会場の広間があるので、いざとなれば緊急避難もできそうです。ちなみに駐車キャバは30台程度とのことです。

もし「行きたいけど子供の当日のコンディションが心配」という場合、連絡いただければ直前キャンセルあり、でOKです。気楽に行きましょう。何もない野っ原でのピクニックと違い、室内で休む場所もあり地元の事情に明るい方もいて万一緊急時に対応が早そうだと思いますし。

ということで、たくさんのご参加をお待ちしています。



記

ERFC ピクニック Under A Blanket Of Blue

日程 5月14日(土) 時間 11時頃から

場所 勝沼ぶどう郷

会場 勝沼町勝沼 2864 観光ぶどう園展望園

会費 大人1名につき ¥2,000.(現地パーベキュー代として。18歳未満は無料)

雨天の場合 小雨程度なら決行

ロードスター以外もOKです。ただし、爆音車その他公序良俗に反する車での来場はご遠慮下さい。

参加受付方法

1.ハガキによる申し込み

以下を明記してERFC事務局宛に郵送ください。

氏名・人数(大人・子供別に)

前日までの連絡先(電話またはE-MAILアドレス)

当日の連絡先(携帯電話か携帯アドレス)

宛先;〒362-0071 埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方 ERFC 事務局

2. e-mail による申し込み

以下を明記して宛先アドレスへ送信ください。

メールタイトル(題名)に「ピクニック申し込み」と書いてください。
本文に

氏名・人数(大人・子供別に)

前日までの連絡先(電話またはE-MAILアドレス)

当日の連絡先(携帯電話か携帯アドレス)

を明記してください。

宛先;erfc@dec.sakura.ne.jp

「後泊」について

宿泊料金;大人1名1泊2食付 5700円

1泊朝食付 4200円

子供(小学生以下)各 - 700円(上記価格より)

max9室27名なので人数オーバーの場合、要打合せとなります。

宿泊希望の場合、取りまとめて申し込みますので下記へ連絡下さい。

また、ピクニックについてのご質問等も同じく下記へおねがいいたします。

ピクニック担当 パパ・ヒラグチ

e-mail アドレス n.hiraguti@sankyo-engineering.co.jp 携帯電話 090 - 3812 - 9552

受付締め切り

ハガキ、e-mailとも5/7(土)必着でおねがいします。

会費は現地をお願いします。

ずっとロードスターに夢中だった Still Crazy After All These Years

はじめて出会った時から大好きだったNA。一度は手放したけど、やっぱり、ね。

On The Roadster Again ~我が家に再びロードスターがやってきた~

2004年10月、4年ぶりに我が家にロードスターがやってきた。息子が生まれる6ヶ月前、2000年3月に手放して以来である。ERFCのメンバーがNBを購入するにあたりNAを手放すという話を聞いて真っ先に名乗り出た。将来息子にもオープンカーの楽しさ、気持ちよさを伝えたい、そんなことを考えていたからだ。それは奇妙な偶然だった。その話がある2週間ほど前、家族でマツダの中古車センターにボンゴフレンドィを見に行った。レガシイの後継車だ。ひととおり見た後、35万円のロードスターが目に入った。久しぶりということもあり、しげしげ見つめシートに座ってみたりもした。ほぼフルノーマル。平成元年車にしては程度は良い。

と、突然妻が言う。「レガシイはまだ十分家族で乗れる。このロードスターを買うっていうのもアリじゃない?」まさに、目からウロコ状態。はじめは悩んだ。2台も維持できるのか?うちに帰ってさっそく維持費の計算。なんとかなりそうだ。そんな話をしていた矢先だった。息子の反応は?という、これがなかなかいい。「オープンカーって気持ちいいね。ぼくはユーノス大好きだよ」などと嬉しいことを言ってくれる。挙句の果てに、幌を閉めたオープンカーが走っているのを見つけると「せっかく天気がいいのにオープンにしないなんてもったいないねえ」なんてことも。



それからは機会あるごとに1.3キロ離れた駐車場に車を交換しに行き、ドライブを楽しんでいる。昨年の暮れ、息子を実家に預け(息子よゴメン)妻と2人、ロードスターでサザンオールスターズのコンサートに行き、帰りに食事をした時は、まるでタイムマシンで逆戻りしたような夢のようなひとときだった。やっぱりロードスターは楽しい。譲ってくれたメンバーと、2台所有を許してくれた妻に感謝したい。

(前田浩一)

ロードスターで行こう。見上げればそこに空があるから

Take The "S" Roadster ~久しぶりだけど、はじめてのロードスター~

3年ぶりに乗ったロードスターは、MAZDAじゃなくてSMART。全長343cm全幅162cm全高119cmの今やミニサイズ。クーペモデルのはずなのに、なぜかハードトップじゃなくて厚いクロス屋根がついていた。サイドシルが高く、シートが低いので、しりもちをつくような感じで座る。タイトと言うより狭くてきつい。パーキングや高速のチケットはシートベルトを外し、半身を狭い窓から出さないと取れない。屋根はヘッドレスト後ろにシャッターのようにスイッチひとつで折りたたまれる。ドアウィンドウ上下が短く、A、Bピラーをつなぐ骨も残っていて、サイドの開放感は今ひとつだが、その骨はレバー解除で外せる。ただし、外すとトップを閉められない。閉めるのももちろん電動だが、ちょっと調子悪く、ひっかかって、途中で止まってしまう。手で直してあげてやっと閉まる。Bピラーから後ろはハッチバック。斜め後方視界はほとんどなし。ごく浅いリアラゲッジスペースにはジャケットくらいな

ら置ける。気を落ち着けて走り出すと、わずか700ccの82psなのに、ターボつきなのと車体が軽いからトルク不足は感じられない。6速セミATでシフトレバーを前後に押し、後ろから、プシュッと音がしてクラッチが切れる。シフトレバー横のボタンでフルATモードになる。シフトロックもほとんど気にならない。ALFA147セレスピードより自然だ。意外にも癖のないコーナリング、十分なパワーで気持ちよい走りが楽しめる。乗り心地は特にリアが雑で、どたばたするが、シートがやわらかく、舗装路なら問題ない。ユーノスロードスターの乗り心地がいやだった妻も満足していた。

イタリア旅行はまだ20代だったころの一人旅以来、今回で2度目。実質5日間の1日だけドライブ日を確保した。借りたのはイタリア国内専用のITALY BY CAR (thrifty car rental)という新しいレンタカー会社。ネットでの申し込みでSMART ROADSTERは期間限定で一日25ユーロ。免責なしのフル保険をつけてもわずか38ユーロと、エコノミークラスに比べても半額で、普通のSMARTよりも安い。しかも185kmしか走ってない新車。今まで海外レンタカーは車種を指定できず、残念な思いをしてきたため、指定できるのがうれしかった。ただし車種指定はsmartとLANCIAイプシロンくらいであとはクラス指定のみ。メールでの質問にも迅速に答えてくれたのだが、難点は営業所の閉店時間後では40ユーロ程度追加料金がかかるなど、融通が利かないことか。しかし、空港のオフィスでは8:30-22:00と余裕の営業時間だったので空港まで行くことにした。



今回のドライブコースは、Firenzeを基点にトスカーナ中央部をぐるっと1周するもの。

09:00Firenze 空港 - 09:30→Firenze 南部 11:30SanGimignano - →15:00Volterra - 16:30→18:00Pisa - 19:30→高速 A11→21:45Firenze 空港

まず空港からFirenze市街を抜けSienaの方面に行く。交通量も多く、ときどきするが、行き先の標識はシンプルでわかりやすい。イギリスと同様、市街地以外は信号はなくラウンドアバウト。最初の目的地のサンジミニャーノまでは幹線道路ではなく、ほぼ並行に走る、ゆるいアップダウンのあるワインディングロードを通ったが、他のクルマは100km/h程度で走っているの、適度に緊張感がある。のろのろ走っている車は極めて少ない。サンジミニャーノもヴォルテッラも市街地は車が入れない。町自体はローマやフィレンツェなど大都市のようにおしゃれじゃないけれど、のんびり散歩できる。疲れたらカプチーノやジェラートで一休み。最後の目的地のピサは意外と大きな町で、市街地図をもってなかったため、迷ってしまったが、昔の記憶を頼って、どうにか日没前に斜塔のある広場にたどり着いた。観光地の駐車場はゲート式でチケットかプラのコインを受け取り、出る前にオフィスか自動支払機で払ってから車に乗り込む方式。どこも1時間1ユーロ=140円程度だった。

帰りは高速のautostradaに乗る。140km/h以下だと追い越される。料金は90kmで3ユーロ強とすごく安い。入り口でチケットを取り、ETC同様のTELEPASSか現金自動支払機で支払うしくみ。Firenzeの出口のサービスエリアを利用したが、日本よりイギリスのものに近く、さほど大きくないが、クルマ雑誌やお菓子などは日本以上に充実している。ただし、クレジットカードが使えなかった。

最後に寄ったのはガソリンスタンド。夜は無人で、はじめにクレジットカードか現金を入れると給油できるはずだが、カードも現金も受け付けてくれず、どうすればいいのかわからず、困っていると、隣のガソリンスタンドに給油する人がいたので、聞いてみる。どうも機械の調子がおかしいらしく、お金を交換してもらい、どうにか給油できた。さらに満タンにするため隣の機械でやり直すと一発でOK。はじめの機械だけがダメだった気もする。いや～あせった。

一日乗ると、すっかりクルマにも交通にも慣れた。クルマも道路も、たまに走るには楽しいけど、リラックスはできないかなあ。でもまた乗りたいし、またイタリアにも行きたい！ (片貝 智)

Old Friends ~ 近況報告・ERFCの仲間たち ~

清里の初期から長年スタッフとして参加していた馬淵さんからお便りをいただきました。ここ数年は生活環境の変化で遠ざかっていましたが...

みなさん、ご無沙汰してます。お元気ですか？ほぼ年1回しかでてこない馬淵でございます。2月7日に新型プレマシーが発表になりましたが、そのアド企画のツナガリ広告に家族で選ばれました。

先日、篠山紀信さんに撮影してもらってきました。篠山さんは、怖いイメージでしたが、素人相手だからもあるんでしょうが、とってもイイ感じのひとでした。周りはピリピリしてたようですが...。ポラに直筆のサインもらっていい記念になりました。最近、下の女の子の反抗期がすごいので、ちょっと手を焼いていますが、みんな元気です。そろそろ清里にも家族で参加できるかなあとも思ってるんですが...

(馬淵勝雄)

ツナガリ広告についてはこちらから

<http://www.premacy.mazda.co.jp/advertise.html>



日々是開帳

ひでまる会長のあいさつにもありましたが、今年のERFCは「イベント・オリエンテッド」で行くことにしました。で、今回と次回の「通信」はピクニック担当の私が、そしてその次(たぶん夏の終わりごろ)には、清里実行委員長の小関「豆蔵」さんが責任編集ということになります。今回はちょうど次期ロードスターの公式発表と前後するタイミングだったので「是非トップ記事に新型の姿を」という想いで紙面を構成してみました。ちょっと窮屈なレイアウトになってしまったかもしれませんが、アマチュアである私達に写真の掲載を快く許可していただいたマツダ広報の相楽さん、ありがとうございます。私は今、NAの1.6後期型にほそぼそと乗り続けています。NA型はこれから益々「旧車化」していくことと思いますが、ロードスターを愛好する者の集いの場に参加し続けていて思うのは、常に現在進行形的环境や時代に即した「進化」をしている最新モデルが共に存在してこそ、ということです。以前清里で俣野さんから「遠くでロードスターと識別できて、近づいてきたとき初めて新型だと判る」というコンセプトをお聞きしましたが、今度のも写真で見受けれるかぎり、その延長線上に位置するようになると思います。新型には機会があったらなるべく早く試乗して、「人馬一体」がどのように継承されているのかを感じてみたいと思っています。そして清里に参加するであろう新しい仲間(人も、車も、です)をたのしみに待ちたいと思います。

(パパ・ヒラグチ)

ERFCに対するご意見・ご希望・質問等は下記宛にお願いいたします。
またNewsletterへの投稿もお待ちしています。
近況報告・愛車自慢など 写真やイラストでもOKです。



ERFC Newsletter

ユー/スロードスターファンクラブ通信
2005 Vol. 1 2005年 4月 1日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局：埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL:erfc@dec.sakura.ne.jp URL:http://dec.sakura.ne.jp/~erfc